

新年
あけましておめでとう



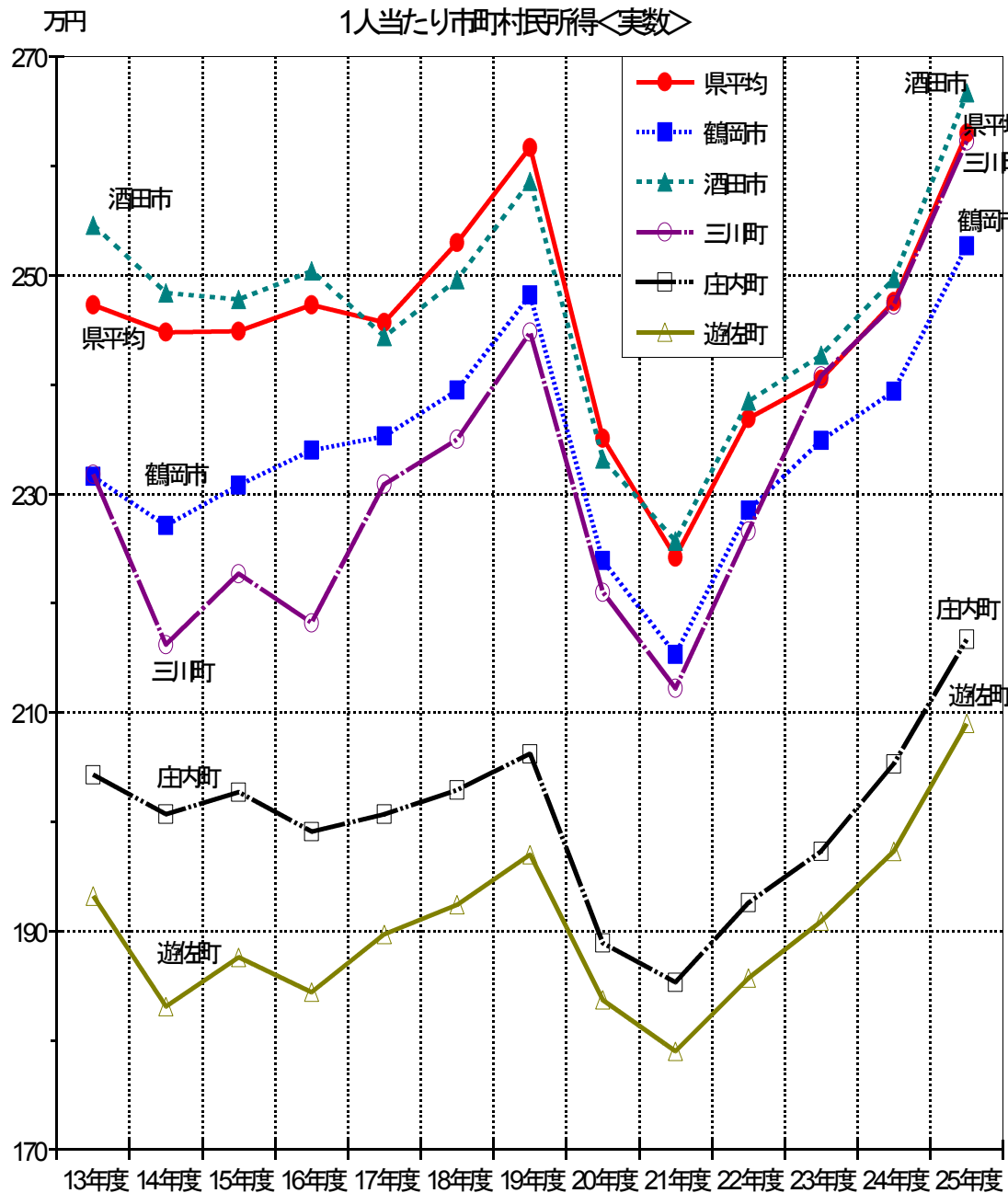
2017年

日本共産党藤島支部
民報藤島編集部

一人当たり市町村民所得 <実数> (単位：万円)

	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
県平均	247.3	244.8	244.9	247.3	245.7	253.0	261.7	235.1	224.2	236.9	240.5	247.6	263.0	県平均
鶴岡市	231.6	227.1	230.8	234.0	235.3	239.5	248.2	223.9	215.3	228.5	234.9	239.4	252.7	鶴岡市
酒田市	254.6	248.4	247.8	250.4	244.4	249.6	258.6	233.2	225.7	238.5	242.7	249.7	266.7	酒田市
三川町	231.8	216.2	222.7	218.2	230.9	235.0	244.8	221.0	212.2	226.6	240.8	247.3	262.3	三川町
庄内町	204.3	200.7	202.7	199.1	200.7	202.9	206.2	188.9	185.3	192.6	197.3	205.3	216.7	庄内町
遊佐町	193.2	183.1	187.6	184.4	189.7	192.4	197.0	183.7	179.0	185.7	190.9	197.3	209.0	遊佐町

市町村民経済計算 - 山形県ホームページ



**1人当たり市町村民所得
鶴岡市は252万7千円**

県内市町村の経済水準を比較するときに使われる「1人当たり市町村民所得」は平成25年度、鶴岡市は県平均の263万円より10万3千円低い252万7千円でした。

酒田市は県平均より高く266万7千円で、鶴岡市より低かった三川町が23年度から県平均水準に上昇しています。(2面へつづく)

私の昭和 54

鈴木重雄(89歳・八色木)

役員体制(1)

昭和44年第一次合併初年度の役員は旧農協の役員全員が就任し、理事37名、監事13名の大世帯であった。

旧藤島スーパー2階会議室に四角型に席をとった会議であった。発言も演説調の人や録音機を持ち込んで自分の発言を収録する人もいて活発であった。

初代組合長に旧藤島農協組合長豊田永治さんが内定したのであるが突然異論が出た。

地元藤島農協の理事の中から八栄島農協長の小鷹徳治さんの名前が上がリ、同調者も何人かいて会議はいったん中断したが、小鷹さんはその意思がなく辞退したので落ち着いた。

代表監事に旧藤島農協代表監事の矢口清左エ門さんが選任された。常勤理事に各旧農協長が就任し、事務所を旧藤島農協の向いのふたば家具店(旧阿良建材所有)に置いた。

組合長理事豊田永治(藤島)、常務理事金融担当斎藤正雄(渡前)、常務理事宮農担当渋谷繁太郎(長沼)、常務理事経済担当小鷹徳治(八栄島)。

宮農部長斎藤正吾(旧渡前農協参事)、管理部長菅原平七(旧藤島農協管理部長、金融部長丸山敬(旧八栄島農協参事)、経済部長毛利貞治(旧長沼農協参事)、藤島支所長富樫朝雄、長沼支所長渋谷健吉、八栄島支所長石川勇男、渡前支所長成澤三郎。

(つづく)

(1面からつづく)

「1人当たり市町村民所得」は、生産活動によって生み出された付加価値で、企業の利潤なども含んだ各市町村の経済全体の水準を表す指標です。

個人の給与や実収入などの比較はできませんが、雇用者報酬と財産所得(非企業部門)、企業所得(法人企業の分配所得受払後)の合計をその年の10月1日現在の総人口で割ったものです。

「付加価値」は、具体的に生産された商品やサービスの額(産出額)から原材料や部品代(中間投入などを差し引いたもので新たに付け加えられた

価値のことです。

鶴岡市の経済水準の低さは、市の財政指標である「財政力指数」にも表れ、26年度は0・42で類似団体87団体中86位と最下位水準。酒田市は0・45で同じ類似団体で81位でした。三川町は0・37で類似団体40団体中12位で上位にあります。鶴岡市は行革で住民

サービスの削減と市民負担増、安あがり賃金となる民営化を進め、積立金は156億円に積み増しし、バイオ研究に3億5千万円も投入し、地域内経済循環が貧しくなっています。自治体リストラではなく行政の力を発揮し、市民の暮らしと地域経済を高める施策に転換すべきです。

政府の「自衛権の発動」で戦争できる自民改憲案

―あらためて憲法を学ぶ 青山崇

年頭にあたり、改めて戦争放棄・平和を守る日本と世界の宝「九条」を学ぼう。

自民改憲案が大幅に変えたのは第二章九条

の戦争の放棄である。

章名を「安全保障」に変え、九条一項に「平和主義」を掲げ、現憲法の文言を一部修正傍線部分、「日本国民は、

自衛権の発動を認めれば、武力行使や戦争しても

正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動としての戦争を放棄し、武力による威嚇及び武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては「用いない。」と平和主義で化粧している。

ところが、戦力の不保持と交戦権を否定した最も重要な二項を全面改定し「前項の規定は、自衛権の発動を妨げるものではない。」としている。「自衛権の発動」と政府が認めれば、

よいことで一項の完全骨抜き。まったく詐欺師のやりかたである。憲法制定国会で自衛権が論議になった。侵略戦争は不戦条約などで禁じられたが、破られてきた。そのため思い切った画期的なものにした。一つは侵略戦争ができなくなる戦力不保持、二つは、日本は自衛の名に隠れて侵略戦争をした前科があるので、交戦権を認めないことにしたとの政府見解があった。



変える「九条」は

明けてしましておめでとうございます。今年もよろしくお付き合い下さいますよう、お願い申し上げます。

▲改めて言うのもなんですが、ニュースを聞きながらNHKや、オガシネネガーとブツブツ言うようなことが「きびちよ」なので、から気軽な・ネ

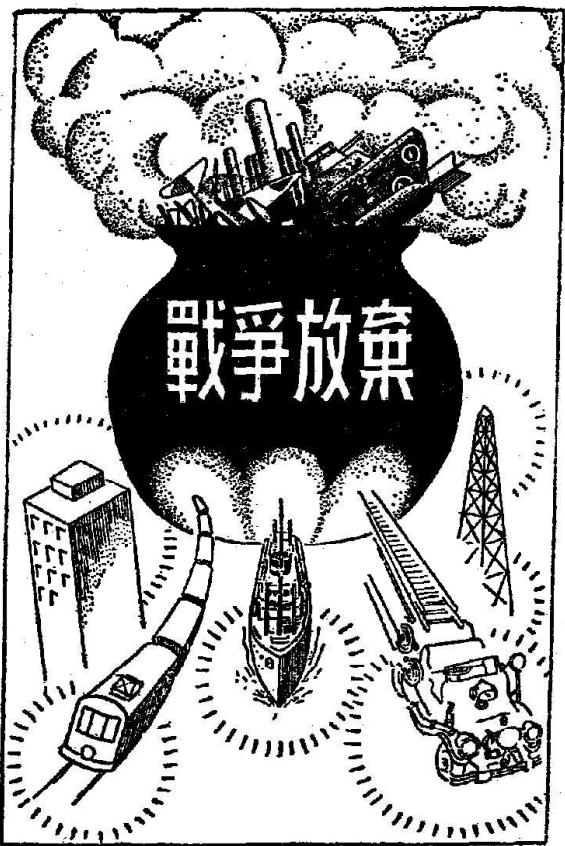
▲彼が良く言う「戦後レジーム」ウンヌンは、ナニなんだろうと思いませんか。先のオスプレイの墜落だ。自分らも「原因の究明」を申し入れながら、納得出来たんですか。

▲首相が変えたい憲法の上に安保条約がある、不平等な地位協定で口を挿めないから飛行を許したんでしょう。沖繩は勿論、国民だって到底納得出来るもんじゃありません。▲あんな事故を不特着

なんて言いながら現場の調査さえ出来なかつたじゃないですか。沖繩はこの国ですか。警察権・捜査権はどこにあるんですか安倍さんよ。こんなところがレジームとやらで「変えなければならぬ」ところでしょうか。ちがいますか。

▲先のロシアとの会談で「領土問題を脇に置いて」どうなるのサ。これだって戦後のレジームですよ。与党と一緒に首相をカバっているようですが、時間をかければとか、お金を積めばなんてもんじゃありません。あつちは戦争で勝ち取ったとしてるんだから。最初に間違いをしたらんじやないですか。▲仲良くなることを否定はしません。グダ、グダが親しんで呼んでました。そんなことでは動かないでしょ。

(石川)



左図は、1947(昭和22)年8月2日に文部省(当時)が編集発行した「あたらしい憲法のはなし」に掲載。兵隊も軍艦も戦争放棄の袋に入れて、平和産業の電車や船舶、消防車が生まれる。



右図は、自民改憲案の「戦争放棄の放棄」で、兵隊や戦車、軍艦、戦闘機が飛び立つ(右図は、「あたらしい憲法草案のはなし」太郎次郎社2016.06.22から)